

平成26年度事業の概況

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

2014年1年間に日本を訪れた外国人旅行者が、ビザの大幅緩和や円安の影響により、過去最高だった前年を300万人余り上回る過去最高の1,341万人、比率にして29%増となり、観光立国としての第一歩を歩みだしました。

金融界におきましては、日銀の金融緩和追加により、更に円安・株高となる一方、一段の金利低下を招き、運用環境の厳しさが増しております。

医療界におきましては、昨年4月の診療報酬改定並びに「医療・介護総合確保推進法」の成立により、医療・介護の改革への動きがより本格化しました。しかし、消費税率10%への増税が先送りされたため、医療・介護・年金といった今後の社会保障費の圧縮が懸念されております。

以上のような諸情勢の中、平成26年度の取組みとして、「お客さまアンケート」を実施したところ、預金金利の引き上げ及び貸出金利の引き下げ等、金利に関するニーズが多数寄せられ、預金及び貸出金についての創立50周年の記念キャンペーンを前倒しで実施しました。また、勤務医の組合加入を増やすため、公的病院でプレゼンテーションを行う等組合員増強運動の強化を図りました。

当組合としましては、先生方のお役にたてるよう、預金金利は出来る限り高く、貸出金利は出来る限り低く設定しております。その結果、平成27年3月末の実績につきまして、預金の年間増加額は2,261百万円、年間増加率は8.1%となり、預金残高は300億円の大台を超えました。また、貸出金の年間増加額は366百万円、年間増加率は8.4%に止まり、計画を下回りました。収益につきましては、129百万円の当期純利益を確保し、計画を大きく上回りました。経営体力につきましても、自己資本比率は37%台と極めて高い水準を維持しております。組合員増強運動の実績につきましては、新規加入者は勤務医の先生を主体として1年間で74名と前年比19名増加し、増加数は56名となりました。

今年度も、当組合の使命達成のため邁進したく、引き続き当組合をご利用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(単位：百万円)

主 要 勘 定	当期末(27.3.31)	前期末(26.3.31)	増 減
総 預 金 (期中平均残高)	30,014 (28,833)	27,753 (27,304)	2,261 (1,529)
総 貸 出 (期中平均残高)	4,752 (4,653)	4,385 (4,096)	366 (557)
有 価 証 券 (期中平均残高)	18,678 (17,780)	17,938 (17,340)	740 (440)
預 け 金 (期中平均残高)	10,660 (9,387)	9,254 (8,982)	1,406 (405)
経 常 利 益	178	138	40
当 期 純 利 益	129	99	30
自 己 資 本 比 率	37.49%	40.12%	△2.63%
組 合 員 数	1,215 先	1,159 先	56 先